「総合学園の連携教育を強みに」

学校法人相模女子大学 谷崎昭男 理事長

明けましておめでとうございます。

お蔭様で本学も創立から110余年を数え、緑豊かなキャンパスで日々教育活動に勤(いそし)んでおります。

本学は、幼稚部、小学部、中・高等部、大学、短期大学部、大学院までが総合学園として「一つのキャンパスにあること」が大きな特徴であることから、この立地を活かし、世代を超えた「連携教育」を進めております。

また、本学は全国の地域と繋がり、食の生産体験や企業との商品開発といった連携も活発に進めております。学生は赴いた地で活動する中で、人と触れ合い、縁を作り、継続的に活動を行っております。こういった学生の行動力には、私も驚かされるほどです。

学園の児童、生徒、学生たちが最大限活躍できる環境を整えるとともに、本学のスローガン「見つめる人になる。見つける人になる。」のもと、自ら考え、行動できる〝発想力〟を持った人材の育成を目指してまいります。

「頂く」大切さを

大学×小学部 EKSプロジェクト

大学の栄養科学部・管理栄養学科・栄養教育学研究室の学生らが小学部の全学年児童に向けた「食育」の授業。食べ物は、それ自身の命を頂いていること、食卓に届くまで多くの人の手を介していることなど、食物の貴重さを楽しく伝える内容で、各学期に実施されています。

「おさかな探検隊になろう」

「イワシの手開き」を行いながら児童が実感していく授業。生の魚を手で触り、開き、調理し、そしてお弁当につめ美味しく食べるところまでの実習となる。魚の骨や内臓をおそるおそる取り除いていた子どもたちも、徐々に慣れていき、きびきびと調理を進めていった。そして美味しく焼きあがったイワシのかば焼きと野菜を丁寧にお弁当に詰める作業へ。「いただきます！」と元気よくパクリ。いつもと違った美味しさを味わっているようだった。

「保育の楽しさ、難しさ」

幼稚部×中等部 高等部 保育ボランティア

中学部・高等部の保育の仕事を志す生徒たち（希望者）が、預かり保育を手伝う「幼稚部ボランティア」の取組みがあります。また高等部生は幼稚部の園児へ、絵本の読み聞かせも行っています。

幼稚部ボランティアでは、保育士の先生の指導の下、中・高等部の生徒が園児たちの遊び相手をしたり、教室の清掃なども行っている。活動を通して、子どもと触れ合う楽しさはもちろん、保育士という仕事の難しい一面も体験の中で知ることができる。ボランティアを実践している高等部の生徒は、「子どもたちと遊ぶだけでなく、同時に、園児たちの健康状態や心理状態も把握している先生たちに感動しました。私もそんな先生になりたいと改めて思いました」と感想を話していた。

一足先に、大学の授業

高等部×大学 高大連携講演会&研究室訪問

相模女子大学・相模女子大学短期大学部での学びを高等部の生徒に実際に伝え、一足先に大学の雰囲気を体験してもらおうという取組みです。

大学・短期大学部より10学科10人の教員が高等部の生徒を対象にそれぞれのテーマで講演。「観光」をテーマにした授業、漫画のキャラクターを取り上げた授業、演技から学ぶ自己表現など、多岐にわたるテーマが設定された。生徒らは普段の高校の授業とは違う学びを体験した。今年度2回目となった講演会だったが、「同じ学科でも教員が違えば授業の内容も変わっていて面白かった」と生徒は話していた。年間を通して相模女子大学での学びを体験することで、生徒たちが進路選択をする幅を広げる狙いがある。

少し「お姉さん」気分に

小学部×幼稚部 お店屋さん&出前授業

小学部と幼稚部の連携も活発です。小学部の児童が幼稚部に向け「お店屋さん」を開き園児をもてなしているほか、園児が小学部の教諭の授業を受ける出張授業も行われています。

小学部では幼稚部の年長組へ向けた「お店屋さん」を開いている。ゲーム屋さんや紙芝居屋さん、立体的なお面屋さんや折り紙を教えてもらうお店など。小学部の児童のお店はどれも想像力豊かで活気に溢れている。

また、小学部の教諭が幼稚部に出向いて行う「出前授業」も恒例の行事。国語、算数、理科、音楽といった普段小学部の児童が受けている授業を、園児に体験してもらおうというもの。クラスに分かれ、実験をしたり、歌を歌うなど、普段とは違った授業に園児らも興味津々で取組んでいた。

英語で自分を表現しよう

小学部

学年ごとや全校によるスピーチコンテストを実施し、大きなボディーアクションや写真や物の紹介を交えながら、子どもたちの意欲溢れる取組みが展開される。全校で行う英語朝会では、学年ごとに、リズムに乗せて英語を表現する「チャンツ」や、英語の歌の発表を行っている。

東関東で金賞を受賞

吹奏楽部

普段は中学・高校と共に活動することも多い吹奏楽部だが、コンクールやコンテストでは別部門で出場。神奈川県吹奏楽コンクールでは、中学で「銅賞」、高校で「金賞」を受賞。さらに東関東でも高等部は「金賞」を受賞するなど、“吹奏楽のサガジョ”の強さを見せつけた。そして同部の日頃の練習の成果を発表する場として毎年、相模女子大学グリーンホールを会場に「定期演奏会」を開催している。「相模女子大学のハーモニーをぜひ聞きにいらしてください！」

学園の取組み

発想力豊かに羽ばたく女性へ

日本の伝統文化を継承

かるた大会・書初め

大学には「かるた部」があるほど、日本の伝統文化教育にも力を入れている相模女子大学。2015年からは学園全体で「相模女子大学渡辺令恵杯かるた大会」を開催。事前に参加を申し込んだ幼稚部から大学までの園児・児童・生徒・学生らが、各部門に分かれてかるたに挑む。同大出身で競技かるた永世クイーンの渡辺令恵氏による模擬試合も行われるなど、参加者は白熱した一日を過ごすことに。

また、6年ほど前から恒例となっているのが、新年の「書初め展」。小学部、中学部、高等部、大学の児童生徒、学生らと一般参加の部からの力のこもった「書」が相模大野ギャラリー（相模大野駅北口、伊勢丹隣り）に一堂に展示される（2月1日(水)～2月5日(日)）。

見つめる人になる。見つける人になる。

学校法人 相模女子大学

住所 相模原市南区文京2−1−1
電話 042-742-1411（代）
アクセス 小田急線「相模大野駅」徒歩10分

大学院／大学／短期大学部／高等部／中学部／小学部(男女共学)／認定こども園 幼稚部(男女共学)

入試情報

一般入試（WEB出願可能）	A日程：1/10(火)～1/16(月) 消印有効 試験日1/21(土) 窓口受付1/17(火)、18(水)	
大学入試センター試験利用入試（WEB出願可能）	A日程：1/10(火)～1/13(金) 消印有効	
AO入試	面接日	アピールシート提出期間
	2/7(火)	1/16(月)～2/1(水)必着
	3/3(金)	2/6(月)～2/27(月)必着

詳しくはHPもみてね

詳細は大学入試課へ 0120−816−332
携帯電話から 042−749−5533